

健康 コラム

当院のがん登録の 現状について



秋田厚生医療センター
診療録管理室 医事課係長 **松橋 静香**

「がん登録」という言葉をご存じでしょうか。
「がんの患者数や罹患数」「がんの生存率」に関する情報に接したことのある方は多いと思います。
「がん登録」は、毎年どのくらいの人ががんで亡くなっているか(死亡数)、どのくらいのがんが新たに診断されているか(罹患数)、がんが診断された人がその後どのくらいの割合で生存しているか(生存率)といったがんの統計情報に使用されます。
日本では60年ほど前に「がん登録」が開始されましたが、データを一本化する収集方法が確立されておらず、正確な情報を収集できない状況にありました。そのような中、2013年にがん登録推進法が成立し、2016年1月1日より「全国がん登録」が開始され、全ての病院と一部の診療所で「がん登録」が義務化されました。「全国がん登録」とは、日本国内でがんが診断されたすべての人々のデータを一本化し、集計・分析・管理する仕組みのことです。これによりがん医療の向上や、がん予防、がん検診などを含めた「がん対策」を進めることができるようになりました。
当院では2006年に「秋田県地域がん登録事業」が開始されたことを契機に「がん登録」を開始し、現在はがん診療連携拠点病院(専門的ながん医療の提供、地域のがん診療の連携協力体制の整備、患者・住民への相談支援や情報提供などの役割を担う病院)の指定を受けております。そのため「全国がん登録」と同時に「院内がん登録」も行っております。「院内がん登録」をすることで、病院間の比較が可能になり、各病院のがん診療の特徴を知ることができます。当院の2018年における症例では「がん」の診断や治療が1167件ありました。内訳は男性が64%、女性が36%と男性が多い傾向にあります(図1)。年代別では60〜80歳代が

図2 年齢階級別登録件数

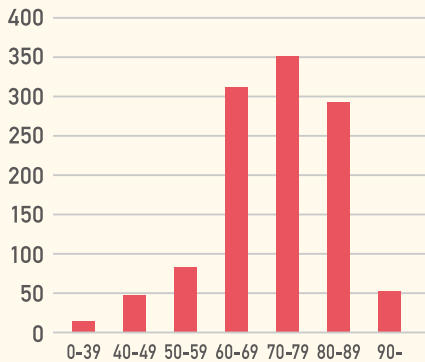
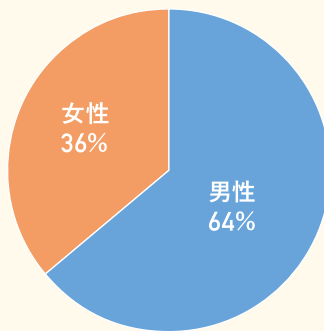
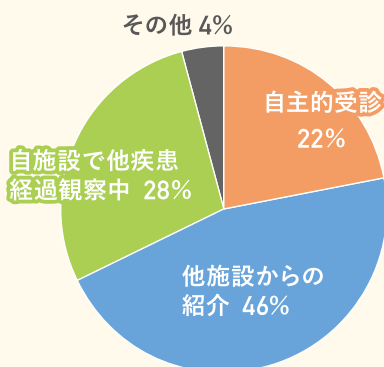


図1 性別登録数



多く罹患しております(図2)。部位別では大腸が最も多く、その次に胃や肺が多くなっています(図3)。患者さんがなぜ当院を受診したのかを把握する「来院経路」を見ますと約半数の患者さんが他施設からの紹介によるものとなっております。他施設には当院宛ての検診機関や老人保健施設等も含まれております(図4)。
その他の項目に関する集計報告は、インターネットの国立がん研究センターがん情報サービスや秋田県がん診療連携協議会などのページでも閲覧することが可能ですので、ぜひご覧ください。
今後も「がん登録」を通して、「がん対策」に貢献できるように努めてまいります。

図4 来院経路



【参考】
国立がん研究センターがん情報サービス

図3 部位別件数

